

## ユタ州運輸局特急車線を RFID 支払い方式へ

掲載日	2009 年 11 月 1 日
国名	アメリカ
分類	料金
出典	Inside ITS(インターネットニュース)
タイトル	Utah DOT's I-15 Express Lanes converting to RFID-based payment system(Inside ITS は有料サイトです。閲覧には会員登録が必要です)

ユタ州でこのタイプのシステムは初めてであるが、ユタ州運輸局はインターステート I-15 の高速車線課金方式の既存のシール添付式を RFID (電波式認証) システムに変更する。契約にはシステム設計、設置、調整、Encompass6 (登録商標) マルチプロトコル RFID 読取機、そして新型 RFID 式 eZGo Anywhere (商標) HOT (多乗員車両無料、少乗員車両有料)/HOV (多乗員車両) 送信機を含む。総額約 16 百万ドルで 9 年間の維持管理を含み、2010 年秋の完成を予定している。

新電気式課金システムによりユタ州運輸局は交通状況に応じて課金を自由に調整することができ、利用者は従来の月額固定シール方式に代わり、実際の車線利用状況に応じた分だけの支払いで済む。混雑と到達時間の減少がすべての車線で可能になるだろうと期待されている。

この動的課金システムは交通状況アルゴリズムにより構成されており、「特急車線」「一般車線」それぞれの交通流データを収集し、最も交通需要を満足させる車線料金を計算する。アルゴリズムは先の TransCore 社との契約で導入された運輸局の TransSuite 交通管制システムのデータも利用する。